

生石地区タウンミーティング(要約)

平成25年11月30日(土曜日)

【市長】 まずこのタウンミーティングですけれども、前回のタウンミーティングでも言わせていただきましたが、松山市は旧の北条市、旧の中島町とあわせて41地区に分かれます。我々が市役所で待ってるほうが楽だと思います。でもそれでいいのだろうか。それぞれの地区にはやはり課題もあり、お困りの点もあり、また逆に魅力もあると思いますので我々から行かせていただいて、魅力であったりお困りの点、課題を聞かせていただく。そしてできることからすぐに反映をしていこう。そういった思いでタウンミーティングをさせていただいております。パフォーマンスやガス抜きでやっているんだったら1巡で終わっていたと思います。パフォーマンスやガス抜きじゃないんです。私は皆さん御存じのように一市民からこの立場をいただいた人間です。もっと行政と皆さんの距離を近くしたいと思っています。そんな思いから私はこの立場をいただいている間は現地現場を大切にしたいという思いで2巡目のタウンミーティングに入らせていただきました。今日は中学生の皆さんもいらっしゃいますので、どうしても緊張すると思いますけれども、90分という長い時間で肩もこると思っていますのであまり緊張なさないように。この地区をよりよいいまちにしていくか、前向きな議論ができればと思いますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

【男性】 私、仕事の関係で10年ほどここを離れておりました。久しぶりに帰ってきたんですけど、寂しかったのは子どもたちがあいさつができないです。そういう促進が全くなされてないんじゃないかと思うんですよ。もう当然中学生なんか全くできません。もっとひどいのは高校生ですよ。こちらから声かけとやってくれるんですよ。黙っとると黙って行きます。実は大人もそうなんです。私ら年寄り同士が会うてもあいさつできないですね。こんな寂しいまちがあるんか思って寂しいですよ。私、川内におったことがあって川内はあいさつがすごいですよ。声出しあいさつですね。松山市のこの辺がどうなってんだろうか聞きたいです。

【生涯学習政策課長】 教育委員会生涯学習政策課の津田と申します。ご意見ありがとうございます。もちろん小学校でのあいさつ運動とか、中学校も礼儀の問題とか色々な勉強をして研鑽をしておるところです。また松山市全体で申し上げますと、大人の方が声かけ運動、見守り活動ですけれども地区ごとにやっていただいております。松山市の青少年育成市民会議があるんですが、見守り隊を結成していただきまして子どもたちの安全・

安心の面から、例えば朝とか帰りに声かけをする形になってます。今の風潮で時々、知らない人に会って話しかけられたら逃げちゃう子どももたくさんいるかと思います。でもそれは地域の見守り隊の皆様と一緒にあいさつ運動を促進されていく中で、公民館活動であいさつ運動が盛んに取り組まれておったと思いますので、地道に大人から声かけて、返事がない子がいたら何回もやっていただければ子どもたちもあいさつのよさに気がついてくれるのかなと思います。教育委員会としてはこのあたりぐらいまでしかありませんけれども、ご理解いただければと思います。

【市長】 私から補足をさせていただきます。生石の方には防犯のことで青パトも非常に多いです、よく動いてくださっていると思います。また、まちづくり協議会の準備会の会長さんはじめ今回もタウンミーティングの受け入れにご協力いただきまして役員の皆様ありがとうございます。難しい時代になったなと思っているんです。難しい時代というのが、印象的なのは大阪の池田小学校ですかね、大人たち知らない人怖いつていう時代になってしまったのですかね。今公園でも遊んでいる子どもの数自体も減ってしまったんですけども、公園で子どもだけで遊ぶと危ないって言われる時代になってしまったんですね。そういう世の中になってしまったので、子どもから知らない大人に声かけるのが都会であればあるほど難しくなったところがあると思うんです。声かけていただける方はすごいありがたい存在なので、大人から声かけてあげると、この人は大丈夫な人だと思って子どもも返してくれるかもしれせんし、ほんと両建てだと思います。大人からにっこりとした表情で声をかけてあげる。そして学校でも教える、そういう両建てで地道な活動をしていくしかないのかなと思っていますので、またご協力のほどお願いできたらと思います。よろしく願いいたします。

【生徒】 現在は小学校と中学校の交流が少ないように思うので、何か部活動単位とか、小学6年生が中学1年生の英語などの授業に参加して学校の雰囲気を知っておくことで、入学した後もあまり緊張せずに授業に馴染めるのではないかと思います。また、部活動単位では中学生が小学校のバスケット部やバレー部の指導を一緒に行い、より地域の活性化につながればと思います。

【市長】 今松山市では学校そして先生の間で小学校と中学校の交流とか、また小学校同士の交流ってすごく大切だと考えています。聞いたことあるかな？子どもからの「いじめ0（ゼロ）ミーティング」ってあるんですよ。「いじめ0ミーティング」は小学生と中学生が一緒になってやっているんですよ。また夏休みに中島でやっている各学校の代表が集まってキャンプ

とかしてるんですね。また少人数でほかの学校の子どもたちとも触れ合う授業もやっているんですよ。今ご意見いただいたんで、より進めることができないか考えさせてもらおうと思います。またこういう「いじめ0ミーティング」とか学校の代表のキャンプとかにぜひともまた参加したい、参加してほしいと。

【生徒】 次のコミセンで行われるのに参加させていただきます。

【市長】 わかりました。どうぞ参加してください。そこで学んだことを学校のみんに広げてほしいと思います。小学校同士の交流、小学校と中学校の交流、すごく大事なことだと考えていますので、ほかにどういうことができるのかどうかも考えていきたいと思います。いいご意見いただきありがとうございます。

【男性】 松山市ではJ-ALERT、防災放送ですけど、あれを最近つけていきよると思いますけれど、日常にもそれを使えるように。というのは災害起きた、さあ放送しようというても、なかなか使えなんだからじゃないかと思うんですけど。よそもそういうこと言われとるんですけど。日常から時報とかで絶えず使うておったら故障しても早く発見できるんじゃないかと思われま。よろしくお願ひします。

【消防局総務課長】 消防局総務課の中矢と申します。ご質問ありがとうございます。J-ALERTは、全国瞬時警報システムと申しまして、地震とか津波とかの情報を瞬時に防災行政無線を使って皆さんの地域に放送できる設備です。地震などが起こった際、緊急地震速報などは震度5弱以上の地震を感知した際に消防庁からJ-ALERTを使いまして、松山市の防災行政無線を自動的に鳴らして、皆さんに注意を喚起するシステムです。それと、今松山市も防災行政無線のデジタル化を進めております。その中で生石地区も、現在5カ所の防災行政無線があったんですけども、十分調査いたしまして、さらに3カ所増設するようにしております。増設箇所は、南吉田中央公園、高岡みなみ公園、鶴ヶ丘公園の3カ所に増設いたしまして、緊急な情報を確実に伝達できるシステムを今構築しておりますので、先ほどの時報もしくは定時放送によって機器の動作確認をすることも、すべての整備が完了した後に危機管理担当部で検討させていただきますので、貴重なご意見をどうもありがとうございました。

【市長】 デジタルの前はアナログの防災行政無線だったんですけどこれを3年間かけてまだ新しい中島を除く全市でデジタル防災行政無線に変えるように今しているところです。デジタル化になると今までは送りっぱなしだったんですけども、子局によっては親局と通話が可能になるメリットも出てきます。私から皆さんに防災のことをお願いですが、私「一人

でも多くの人を笑顔に「全国に誇れる、わがまち松山」をスローガンに掲げて今仕事にあたらせていただけていますけども、災害のことにしても防犯のことにしても、やっぱりまちが安全安心じゃないと皆さんなかなか笑顔にはなりにくいと思います。小学校中学校って子どもたちが長い時間を過ごす場所ですよ。そしていざというときには避難場所になる場所です。そういうところに防災士がいたらものすごく心強いですよ。なので、小学校・中学校の先生方に防災士の資格を昨年度とってもらい一気に163名の防災士が誕生しました。今年はずっと小さい幼稚園や保育園の先生方にとってもらいました。そのときに私も一緒に防災士の資格をとらせてもらいました。そして防災士の試験で得た知識と高くなった意識をより防災に反映していきたいと思うんですけれども、そこで皆さんにお願いです。平成23年の3月に皆さんのお宅に防災マップを配らせていただきました。その後に東日本大震災が起こってしまったんですが、だからといってこれが全然使えなくなったということではありません。この中には役立つ情報がいっぱいあります。生石は73ページに避難場所とか全部出ています。ここに蛍光色を使っているんですが、派手かましい色を使うと目の不自由な方には逆に見にくいというご指摘もいただき配慮してつくった、愛媛大学に防災の権威である矢田部先生と防災のセンターともいろいろと話をさせていただいてつくった魂をこめた防災マップです。役立つ情報がたくさんありますので、ぜひ見ていただきたいと思うんですが、1ページにこんなこと書いています。防災意識アンケート松山市民に聞きました。何らかの災害に遭遇すると思っている人は75パーセント、つまり80パーセントの人が何らかの災害にあうんじゃないかなと思っている。でも災害に備えて家具固定をしている人は逆に反対の19パーセント、2割の人しかやってないんですよ。防災士の養成講座で学ばせていただいたですけれども、色んなものが入っている重い家具が大きく揺られると大げがをする。また悪かったら命を取られるものになってしまいます。ですので、皆さんには正しく恐れる、しっかりと備えるということが大事であります。また新しい被害想定が出ましたら、新しい防災マップをつくって配布する予定でございますので、どうぞ活用いただけたらと思います。よろしくお願いします。

【中学生】 私が提案するのは、通学路として使っている空港通りのゼットワイのスーパーから西中学校の前の道路までを通学時間だけ通行規制あるいは一方通行にしてほしいというものです。朝、会社に出勤する人などの車が多く、よく渋滞をしています。通学しているときに、前から後ろからも車が来ると危ないです。特に雨の日は水たまりができ、横が川の

ところもあるので滑りやしないかとても不安です。水たまりの近くを通らないようにしようとしても、前後から車が来るのでよけません。西中学校の西側の道路は、7時から8時半まで空港通りへ出ることだけ許可し、一方通行にしています。事故が起こってからは遅いです。事故が起こらないための対策をぜひお願いします。

【都市政策課長】 都市整備部都市政策課の松本と申します。よろしく申し上げます。今ご意見のあったゼットワイ高岡店の前の信号のところから車の規制についてですけれども、例えば信号の制御時間をどれぐらいとるとか、車の一方通行をどうするかは、警察の管轄になりますので松山市から西署へ、こういうご意見がありましたということで検討していただきたいとお伝えをいたします。現在ゼットワイのところの信号について南北の時間が相当短いと思います。これは空港通りが大きい道路ですので、そちらの時間が長くなるとともに、信号機ですので連続性もあって警察が制御をしているところもありますので、ご理解いただけたらと思います。

【市長】 一般論として、一方通行にする場合のハードルはやはり利用者の声になってしまうんですかね。

【都市政策課長】 一方通行にした場合に沿道の方の出入りがちゃんとできるかどうかも含めて、検討することになると思います。

【市長】 なぜできないんだろうって思うことがあると思うんですけど、今松本課長が言ったように、逆に一方通行になったら困る人の存在があることなんですよ。一般論として聞いてください。ここの場所っていうんじゃないくて。子どもたちのためにわかりましたっていうことがあれば、前に向いて進みやすいのかもしれないし、ご意見としては受けとらせていただき警察にお伝えをする形になります。道路のことでこんなケースがありますって話ですけども、私7月に生石小学校の通学路で、大雨が降った後に通路がかなり増水をしている横を小学生が歩いている写真を見ました。これは危ないと思ひまして、担当に指示をさせていただきました。すると地区でも受けとめて早く動いていただいて、7月の増水のことだったんですが、すでにその通路にはガードパイプがつくられて、転落をしないようになりました。これは水路を使う農業者の方も協力してくださったおかげ、また沿道の方を回ってくださったおかげですけども、できる例があるんですね。また道路で難しいのは、道路があつて水路があると、使うほうからすると水路を蓋してくれたらいいって思うときがあると思うんですけども、それすると逆に気をつけないかんのは、道が広がりすぎて、抜け道になって逆にスピード出す車が増えてくる事情もあるところもあるんですよ。例えば水かけるのも、蓋してないと便利だとか、また水

路があることによって夏は涼しく冬は暖かいとか、さまざまな意見があるんですよ。行政はさまざまな意見を集約しながらやっている状況です。なんでこうならんのやろうということはそういうことがあることだと思います。ただ、やはり私は人の命は何ものにも代えがたいものだって思っていますので、皆様のご協力をいただきながら、できるだけ安全性が向上できればいいなと思っています。貴重なご意見ありがとうございました。

【男性】 生石地区の特徴として海岸ばたに工場地帯がありますよね。自然災害に対する防災訓練は自主防災とか各連合会自主防災で訓練とかやっているんですけど、工場の事故ですよ。火災とかなったらたぶん工場の敷地内だけでおさまるとだろうと思うんですけど、可燃性ガスあるいは毒性を持ったガスが流れ出した場合に垣生山があってその山裾に北吉田があるんですけど、そこらに滞留する恐れもあると思われるんですよ。工場事故が発生した場合は当然消防にはすぐ通報されると思うんですけど、例えば北吉田に対する住民への対応とかをどう考えられているか、今後の検討課題だと思いますけど以上です。

【消防局総務課長】 消防局総務課の中矢でございます。ご質問ありがとうございます。沿岸部分のコンビナート地域は石油コンビナート等災害防止法によりまして、特別防災区域に指定されております。そのため各事業所が、それぞれの法令に基づいて危険物は有害な物質も含めまして基準に基づいて厳しい管理、使用をしております。なおかつ二重三重の安全措施を講じるようにしております。またその地域で災害が発生した場合は、松山市消防局から出動計画に基づきまして大型科学車また高所放水車など特殊車両を中心とした20台の消防車を出動させて対応することとしております。有害物質等も中央消防署の高度救助隊に特殊災害対応車両がございまして、特殊災害対応車両が出動してガスの種別とか濃度を速やかに検知して、住民に被害が及ぶと判断された場合は防災行政無線を通じて速やかに正確な情報を伝達して非難を呼びかけるようにしております。どうぞよろしく願いいたします。

【市長】 西部はかなり防災体制は厚めにしているつもりです。実は西部に消防庁からの貸与を受けて入っていますよね。

【消防局総務課長】 昨年度、西消防署に四国で1セットになるんですけども、海水利用型消防水利システムといいまして、1分間に4千リットルの海水を汲んで2キロ先まで送水できる通常の消防車の5倍の能力を有したユニットを西消防署に配備をしております。海水利用型消防水利システム馴染みがないかもしれませんが、このシステムのことを東京消防庁はスーパーポンパーと呼んでいます。その高性能の車両を西消防署にも

配備をしておりますので、この車両で対応することとしております。

【市長】 普通、機械って塩分すごく嫌うんですよ錆びやすいから。でも海水使って2キロ先まで放水できるんですよ。逆に浸水したときもそのポンプ使って排水できる優れたものです。皆さんも訓練を見に行ってもらったほうがいいと思うんですけど、金色のヘルメットをかぶった消防隊の人がいます。実は救急隊員には救急救命士という専門的な知識を持った救助をする人がいるんですけども、消防隊もモチベーション高くやってほしいので特殊消防隊をつくりました。その人たちは普通のヘルメットじゃなくて金色のヘルメットをしています。西部地区での工場火災にも対応できる隊員も養成しています。そして有毒ガスとか何か危機事象があったときのためにもう一つ早い対応ができるために、ちょっと話させていただくと、私が就任したときは何か大ごとが起きたときには本町6丁目の消防署に本部が設置されてっていう形だったんですけど、それはやっぱ理由がありまして松山市役所って小っちゃいんですよ。建物の外のオフィスビルに会議室を設けないといけないぐらい市役所スペースがないんです。なので本部は設置することができてなかったんですけども、私は東日本大震災のときにちょうど東京に出張してしまして震度5の揺れを感じて、あのときは東京で亡くなった方もいたんで命があっただけでもありがたいと思ってるんですけども、結局羽田空港のロビーで地べたで新聞ひいて寝て体にコート掛けて寝る貴重な経験をさせていただきました。そのときから防災に対する意識が特に強くなりまして、結局11月1日、市役所の中に新しく組織をつくりました。危機管理担当部です。普通だったら4月1日からにしまししょうが普通なんですけど災害はいつ起こるかわからんから年度途中に危機管理担当部を11月1日につくらせていただきました。今、松山市役所の5階には対策本部室が常時開かれています。何かあったらそこに集まって対策ができるようになっていきますので、防災対策は必ず上がっているものと思っております。先ほど申し上げたとおり西部の方々、特に防災、安全安心でない笑顔にはなれんと思っておりますので、その点では特に意識をしながらやっておりますのでご安心をいただいたらと思っております。また足らずのところがあったらお伝えいただいたら改善をしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

【中学生】 先ほど話にも出たんですがゼットワイ前の信号が短くて学生が困っています。平日の時間帯だけでもいいので長くすることはできないでしょうか。

【都市政策課長】 ご意見ありがとうございます。先ほどもお話ししましたように確かに空港通り南北の信号が短いですね。どうしてもメインの空

港通りについてスムーズに車が流れているかっていうとなかなか朝夕非常に車の量が多くて混雑しております。信号制御の時間、どういう割合をするかが非常に大事になってくるんですけど今のご意見については西警察署にお伝えをさせていただいて検討していただきたいと思えます。

【市長】 必ず伝えますので安心しておいってください。県警さんがどういう対応をとられるか。空港通りの流れのことも考えながらされると思えます。今、皆さんのご協力いただきながら外環状線をつくっています。何で外環状線をつくっているかという、国道33号から市内に入ってきて環状線回って空港通り、また新空港通りに行きますから時間がどうしてもかかってしまう。今、30分ぐらい空港までかかっています。全国の24地区であなたのまちでインターチェンジと空港のあいだ何分ぐらいかかりますかって調査をしました。30分以上かかりますって言ったところが24地区の中で四つだけありました。その中の一つが松山であとの三つは北海道でした。大きな北海道と松山が同じということはあまりにも時間がかかりすぎているってことですよね。ですから皆さんのご協力をいただきながらこの外環状線をつくらせていただいているところです。外環状線ができたら空港通りの車の通行量はかなり減るのではないかなと思っています。でもそんなこと言っているとあつという間に高校生・大学生になってしまうので、警察署に伝えまして対応をお願いするようにします。

【男性】 信号等で対応するのは非常に難しいと思えますので、あそこは陸橋でもつくってあげたらいいんじゃないかと思うんですがいかがでしょうか。

【都市政策課長】 ご意見ありがとうございます。確かに安全第一、安全確保ということになったら歩道橋、陸橋そういうことも検討できるかと思えます。実は空港通りゼットワイのところの空港通りは県道で所管が愛媛県になりますので、県にご意見お伝えをして検討していただくということとさせていただきます。と思えます。

【市長】 皆さんさすがに国道はおわかりになると思えますけども、どこが国道でどこが県道でどこが市道かわからないですよ。遠慮なく我々に言ってください。このタウンミーティングでは県のことでしたら県にお伝えをしますし、国道のことでしたら国にお伝えをしますし、川も国が管理している川と県が管理している川と市が管理している川があるんですね。どこが市が管理してどこが県が管理して国が管理してってわからないですよ。県管理の川だったら県に伝えますし国だったら国に伝えます。ただ2ルートでいくと一番伝わりやすいと思うんです。ほかの行政体に伝えると例えば信号をあと3秒長くしてもらったらええんよとか5秒、10秒

長くしてくれたらええだけの話よっていうことでも当事者が言ったほうが伝わりやすいんですけど、回っていっちゃうと何か話がうまく伝わらないときがあるので2本建てで、我々からもタウンミーティングでいただいたらお伝えしますし、また皆さんからも直接伝えてもらおうと伝わりやすいようです。それは身を持って感じましたのでそういう形が一番いいかなって思っております。

【男性】 履脱天満宮100本ぐらい松があるんですけど松の剪定、大体2日かかります。40人ぐらいでやります。履脱天満宮の松並木が文化財に指定されてないということですけど、どうすればできるのか、できないのかそのあたりをもう少し簡単に掘り進んで教えていただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

【生涯学習政策課長】 文化財という名称になりますと所管は教育委員会になりますので、まず教育委員会の立場から説明します。文化財は文化財保護審議委員とか、例えば自然、実際の物、資料、昔の古文書、こうしたいろいろな種類の委員会があります。そちらでこれが松山市の文化財にふさわしいかどうかという会合を持っていただきまして会に諮っていただくと。まずそこが松山市の文化財の入り口になります。その際にどういった資料が必要かは担当課からいろいろ皆様にお願ひするかもしれませんので資料を揃えていただくということが必要になります。この周辺で最近会合にかかったと聞いておりますのが、お隣の伊予絣だと思ふんですけどまだ具体的に前へは進んでないという話は聞いております。文化財に認定するのは難しいといひますのは、先般も皆様にご心配をかけましたが宝蔵寺の火災が起きました。あれも国の一級の重要な文化財だったんですけども管理の問題がいろいろ出ております。そうしたところが明らかになっていくところも一つの重要なキーワードになるんじゃないかなと思っております。

【市長】 私から補足をさせていただきます。皆さんがまとまって保全活動を今もしてくださっているんじゃないかなと思ふんですが、より地域の方がまとまって活動をしていただけると確か金融機関の地域でやっている活動に対してサポートする制度もあるんですね。そういうのをご紹介することもできます。今、市役所の中では壁に標語を貼っているんですけど、「なぜできないかではなく、どうしたらできるか考えよう」みたいな標語があり、いいご提案、方向性をいただいたと思ふんですけども、まずはまとまって動いていただくのが何よりもスタート地点になると思ひます。

【市民部長】 市長が申し上げた補足になるんですけど、伊予銀行とか愛媛銀行にそういう制度がございますが、今おっしゃったことがそのまま

ではまるかどうかはわかりませんが、地元の施策に協力する基金もありますので、後ほどご紹介したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

【市長】 先ほど私のあいさつで市役所を皆さんともっと距離を近くしたいと申し上げたんですが、皆さんも敷居を高いと思われなくて相談してもらおうと「いやこういう方法はできないんですけど、こういう方法だったらできるんですよ」みたいなメニューを持っていますのでご相談いただけたら「それだったらこういう方法ができるんですよ」とご紹介することもできるので、敷居を高くせずいろいろとご相談いただければと思います。橋川課長、今市民部長が言われた形のものが一番想定されやすいものですかね。

【タウンミーティング課長】 そうですね、例えば桑原地区でも銀行のメニューを使って地域の活動を支援することもございますので市民部でその制度についてはご紹介させていただきますので一度ご協議させていただけたらと思います。

【市長】 私も前回のタウンミーティングの後に行かせていただきました。あれだけ松が集まっているところは珍しいですね。すばらしいなと思いました。

【男性】 僕は出かけるときによく自転車で空港通りを通ります。自転車は車道を通らないといけないことになっているけど空港通りは非常に交通量が多く危険だと思うので自転車専用のレーンをつくるか歩道を通ってもいいようにしてほしいです。

【都市政策課長】 都市政策課の松本です。自転車は車道を走るのが原則になっております。自転車レーンを言われましたけども松山市で今自転車レーンをどういう形で整備していくか計画を立てて進めることとしております。ただしその地区が主に中心部になっております。今、愛媛県が非常に自転車、しまなみ海道等で力を入れておりまして国道196号を通過して道後へ行く平和通りにブルーラインを引いたりして市も自転車の利用活用推進を図ることとしております。自転車の安全は非常に空港通りが車が多いということでどうしても危険が伴うのは十分理解認識できます。ただし、それぞれ皆さん自転車のマナー、交通ルールを守っていただいて、当然大人も車のマナーを守る中で自転車の利用を図っていただきたい。松山市では各小学校とか中学校で交通安全教室をさせていただいたり、生石地区では特に地元の方々が高齢者の交通安全のマナーについて力を入れていただいていることで非常に感謝をしております。

【市長】 この難しさはもう少し広げればできるんだけどというところですよ。例えば平和通りって広いですよ。戦災復興ってわかるかな。戦

争があって松山も大分焼け野原になってしまいましたけども、その後大きく三つ、平和通り、大手町通り、花園町通り、大きい通りですね。なぜ大きいかというは戦災復興でできた通りだからです。ああいう大きな通りだと昔に比べて車の量も減っているんですよ。花園町が代表的ですけどね。花園町通りは、電車は複線で2車線ずつの車道、イチョウ並木で知られる緑地帯、副道があってアーケード商店街があります。大きい通りです。今、交通量調査すると右折レーンは配慮しなくちゃいけないけれども車線は1車線ずつに縮めていいでしょうというデータが出ておまして、ちょうど来年から電線の地中化工事もあったので何べんも掘り返すわけにはいかないですから、このときに花園町の空間改変。車道を1車線に縮めて、歩く人、自転車の人にもっと配慮したまちづくりをしましょうと歩くところ、自転車レーンをつくるべく今動いているところです。歩くそして自転車を遅い交通っていうんですけど速い交通じゃなくて遅い交通をもっと重要にしましょうと、なぜかというは、歩く・自転車は健康につながっていきますよね。これから高齢化社会なので脳梗塞になって体が不自由になってしまうこともあるでしょう。家でいらっしゃるよりもやっぱり歩いていただいたほうが回復も早いんですよ。元気な間はできるだけ歩いてもらったほうが健康にはつながります。ですので、歩く・自転車をもっと重要視していこうと松山市はしています。松山は晴れの日が多いところです。雪が多い、雨が多いところだったらまた話は別ですよ。そして坂が多いまちだったら自転車使ってください、歩いてくださいは難しいですよ。松山はそうじゃないですよ。自転車とか歩くのに松山はふさわしいので今、歩くまた自転車に配慮したまちづくりをしています。ただ難しいのは狭い道路だったら歩く人のエリア、自転車のエリアを確保するのが難しいんですよ。どうしたらできるのかなというは沿道の方のお店、会社、田んぼ、畑を売ってもらわないといけないんですよ。そうなるとお金は当然ありますよね。そしてその方々のご協力をいただかないといけないですよ。そういうのがあって全部の松山市の道路をそうしていくことはなかなか難しい状況があります。じゃあハードができないんだったらソフト。交通安全のマナーを守ってもらえるようにするということで小学校3年生から松山市は「こども自転車免許証」制度をつくりまして小学校1年生から自転車をよく乗り出すのかと思ったらそうじゃないそうで小学校3年生ぐらいから一番よく乗り出すそうです。皆も警察のイベント行ったかな。子どもが免許証もらったらすごく喜ぶんですよ。なので小学校3年生のときに学校で自転車ルールのお勉強をちゃんと受けてもらったならブルーの免許証を出しましょう。実際に運動場で実地の研修も受けてもらったならゴ

ールドのシールを貼ってゴールド免許ですよってという制度を私が就任してからやらせてもらうようになりました。それだけだと捨てられちゃいますから、「こども自転車免許証」を持っていたらアクアパレットとかコミセンのプールとか市有施設は割引できますという制度をつけていると捨てないですよ。免許証の裏には大事なことがいっぱい書いてますからそういう制度を設けるようにしています。さまざまハード、ソフト両面で安全性を高めていきたいと思しますのでご理解をお願いいたします。

【男性】 今まで出たご意見とは異なるんですが、現在国体に向けた取り組みがいろいろとなされていると思うんですが、この中で人のサポートについてお伺いしたいと思います。今の若い世代の方はスマートフォンとかで例えば宿泊を探したりルート検索することは自由にできるんですが、そういったものを持たない世代の方が初めて松山に降り立って、例えば空港、JR、市駅等に下りたときにそういった場所をサポートするボランティアの方はいらっしゃるのでしょうか。それから今からどういったふうに取り組むのかをお伺いしたいと思います。

【市長】 おもてなし日本一のまち目指してやっていきたいと思います宣言をさせていただいたのは私なので、責任がありますので申し上げさせていただきます。今おもてなしでどういうことをやっているかということ、交通の結節点で観光案内所を設置しています。交通での大事な場所には専任の案内係を配置しています。お問い合わせのお客様に対応しているんですけども、例えばJR松山駅では土日祝限定ですけども松山観光ボランティアガイドの会の皆さんによりまして、JR松山駅から市内電車に乗って道後温泉駅までをご案内するサービスを実施しております。これは市街地のホテルや道後温泉に宿泊予定のお客様に市内電車の中で観光スポットだけじゃなくて松山の歴史からグルメまでガイドする仕組みを始めております。道後温泉旅館協同組合では湯めぐり、足湯、休み処、お手洗い、授乳とオムツ交換、旅情報、インターネット、雨傘など10のおもてなし項目をつくり訪れた観光客をもてなす「以心伝心」、心をもって心をつなぐ取り組みを実施しています。また、国から松山を選定するというありがたいお話がありまして、今まで海外のお客様向けのゴールデンルートは東京、富士山、大阪、関西だったんですけどもそれに続く新ゴールデンルートをつくらうということで観光地を国から京都、広島、松山って言っていただけたんです。だから全国の中でも松山これからのいいよって認めていただいたわけですけども、まだまだ足りないところも多々あると思います。今年の3月に「おもてなし日本一宣言」をさせていただいたんですけども、足らざるところをまたハード面でも整備していくんですが皆さんにお願いで

すけども、旅の印象ってやっぱり人の部分が大きいですよ。例えば松山城行きました、道後温泉行きました、そういうところは、松山城、道後温泉ですばらしいと思いますけども、よその土地に行ったらあるんですよ。でも人の出会ってすごく大きいと思います。これから中学生にお願いしたいなあ。松山の印象がよかったら今回出張で行ったけれども今度はお友達と行ってみようとか、今度は家族で行ってみようとか一度の来訪が2度3度ですよ。印象よかったなあ松山一泊じゃなくって二泊三泊してみようかっていったら2倍3倍の効果を生むんですよ。ここにいらっしゃる方は松山の経済が悪なったらええと思っている人は恐らく誰一人としていない。松山の経済がよくなったらいいと皆さん思ってると思うんです。今、目の前にそのチャンスがあるんですよ。観光のお客さん来てたら、すごい印象がよかったら2回目、3回目来てくれるチャンスなんですよ。印象がよかったら今度は2泊しようか3泊しようか2倍3倍の効果を生み出す、それはおもてなしなんです。何したらええんじやろかって思うかもしれないけど、大体旅行の人って雰囲気わかりますよね。一人ずつで写真撮りよったら、写真お撮りしましょうかと声かけてあげたら二人のご夫婦での写真が撮れるかもしれない。迷ってそうだなと思ったらどこかお探しですかと言ってあげることによってその窮地は救われるでしょう。坊ちゃん列車に土日祝日乗っている人はほとんど観光のお客さんでしょう。手を振ってあげることによって何か気持ちよくなりますよね。大したことじゃなくていい。それがおもてなしだと思うんですよ。そうすることによって、ビジネスチャンスが目の前にあるわけですからやっぱりものにしていくほうがいいと思います。四国はお遍路さんの文化のところですよ。昔は車やバスで回っていたお遍路さんはいませんでした。皆命がけで歩いて四国を回っていたんです。四国には88の札所がありますが一番札所が集まっているところは八つのお寺が集まっています。どこかというとな松山です。一つも札所がないところもありますけども八つも集まっているのが松山なんですよ。一番多くお遍路さんを見ておもてなしをしてきたのが松山ですから絶対できる風土があると思いますのでおもてなしにご協力いただけたらと思います。よろしくをお願いします。

【中学生】 僕は外灯を増やしていただきたいです。道が暗いと歩くときにとっても危険です。さらに自転車や車に乗っている人から歩いている人を確認しにくいので交通事故の可能性が高くなると思います。この2カ月ぐらい不審者が校区内に出ており女子生徒に被害が出る可能性があるのでは防犯対策としても必要になると思います。外灯のことでもう一つ気になるのは切れかけた蛍光灯や切れたままになっている蛍光灯を目にすること

です。そこで外灯を蛍光灯からLED電球に変えることを提案します。ここ数年でほとんどの信号がLED電球にかわりました。そのことから考えても外灯のLED化は小電力長寿命が期待できると思います。今日は外灯を探しながら登校してきたのですが一つ一つの間隔が広くすべて蛍光灯の外灯だったと思います。ぜひ外灯を増やしLED化を進めてください。

【市長】 西中学校の子は何てしっかりしてるんだらうって感じてます。これは地域力じゃないかなと思いますね。ほんと家庭教育とか地域教育をしっかりされているからじゃないかなと敬服しています。LEDは結構できる話ですよ。

【市民部長】 市民部の吉野です。ご質問ありがとうございます。道が暗くて外灯をとということであれば、私どもで松山市防犯協会を通じて防犯灯の設置をやっております。いろいろ条件がありまして設置、つけるところだけで後の維持管理経費は自主防犯という考え方から地元をお願いしています。つけてからの電気代は地元で持っていていただくのが現状です。それで、まずこのあたりにつけたいと地元の町内会長さんなどにご相談いただきたいのが、まず1番目の防犯灯の設置についてです。次の暗くなっているとか、今ついている防犯灯が傷んでいるのは全額助成で取りかえております。ただ今のところは蛍光灯だけでして、町内会の代表者から松山電気工事組合に連絡いただければ全額こちらでお持ちして取りかえることができます。最後にLEDのことですけどLEDは平成24年の4月1日から新設の防犯灯は全部LEDで設置しています。明るさに関しましては蛍光灯が20WでLEDは10Wで明るさは変わりません。電気代は確かに半分ぐらいにはなります。今、蛍光灯が市内に約3万灯あります。この3万灯ある防犯灯を全部LEDに取りかえるのは非常に難しい点がありまして現在のところは新設のみLEDでさせていただいておりますのでご理解いただけたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。

【市長】 今申し上げたように松山市全域で3万灯の防犯灯あるんですね。これを全部市が一括して管理するよりも地元で管理していただいたほうが、あれ切れてるよって対応しやすいし早いと思います。自分たちのまちは自分たちで守るということで松山市が地元へ委託をしている形です。そして防犯灯ってこういう難しいところがあるんですよってというのが、どこでもつけられたらいいんですけど実は田んぼやっている方にとると、稲はずっと明かりが照らされると生育には影響が出るんだそうです。だから設置する場所も相談しながらやらなきゃいけないところもあるんだそうです。でもこれも道路信号と同じくやはり安全が一番重要されるべきことだと思いますので、町内会の方とご相談をしながら防犯灯つければいかな

と思っています。また財政的なことになるんですけど、もっとLEDにしたらどうよって思うかもしれないんですけど予算の話になってくるんですね。これは申しわけないんですけど今国自体が1千兆円の借金を抱えています。日本の人口は1億人ですから1千兆円割る1億すると一人頭どれくらいの借金かということがわかっていただけるかと思いますが、地方には国庫支出金とか地方交付税交付金でお金が回ってくるんですけども仕送りと一緒にですよ。親元がなかなか苦しいとなると当然地方に回ってくるお金がこれから増えることはとても考えにくいですよ。そして少子高齢化です。働いて税金を納めてくれる、税金払いとうてたまらんのよっていう人もまずいないと思います。でも税金がないとごみを回収するにしても回収する人がいます。収集車がいます。燃やすところがいます。ごみが多ければ多いほどごみ焼却施設の耐用年数は短くなってしまいますね。ということからごみ減量してくださいってことで今松山市は皆様のご協力で50万人以上の都市の中でごみの排出量6年連続で最少なんですよ。そういったことでやっぱり使えるお金に限られるんですね。少子高齢化だから働いて税金払ってくれる人もそんなに多くない世の中にますますなろうとしています。そういう状況の中で、限られたお財布の中で何にお金を使っていくかをよく考えないといけない時代になってしまいました。お金がないから何にもしないじゃなくて、皆様のお声を聞いて何を今すべきなのかを判断させていただくためにこのタウンミーティングもさせていただいているところです。この財政の話をするともた手が挙がりにくくなったりするんですけども、それは遠慮なく言っていただいたほうがいいですから皆さんからまたご意見をいただいたらと思います。

【男性】 高齢者福祉についてお尋ねします。介護保険制度ができたときに各所に高齢者の福祉施設ができて、画期的な方法だと私は感じた覚えがあります。最近では在宅介護という方法へかなり力を入れておいでるように見受けられます。ただこの方法も私は大いに賛成ですね。看られる、介護される側にとっては自分で住んでいた家で看て介護していただけるのが一番理想的だと思うんで、それはいいんですが、介護度が上がってまいりますと介護する側に非常に大きな負担がかかってまいります。これは限界があるかと思っています。そういう意味で介護度が上がったときにまた施設へ専門家へお願いをしたい。こういう場合に私の記憶ではかなり古いんですが、今はどれくらい解消されたかは知りませんが施設ごとに100名ぐらいの待機者がいるという話を以前聞いたことがございます。これが解消されてれば、私の今の質問はなかったことにしていただくんですが、まだそういう待機者が大勢いるようであれば施設ももう少し充実をし

ていただくようお願いをしたいと思います。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課の高橋です。よろしくお願ひします。施設の整備について松山市では高齢者福祉・介護保険事業計画を策定して、その中で今言われた入所を待っておられる方、待機者の数等も含める中で施設の整備をしています。第五期の計画が24、25、26年の3年間になっております。順次施設は整備をしている段階になっております。

【男性】 よろしくお願ひいたします。二つなんですけども、JRの松山駅の整備を進めているということですが先ほど花園町の話も聞いていて思ったんですけども、高島屋前市駅前のバス乗り場のところも非常に危険なので整備をしていただきたいということと、もう1点これ清掃の絡みになります。よく道で犬とか猫とか死んでますけどそういうの見つけたときに清掃課に連絡をして取りに来ていただくんですけど、現状日曜日清掃課が動いてないので、土曜日の夜にそういうのを見つけると月曜日の朝まで放置した形になるんですね。一体どうしたものかと警察に相談したら警察の方が処分に来てくださったんですけども、コンビニとかスーパーの長時間営業とか時間が長くなってきている中で市のそういう清掃の部分とか、24時間とまではいわないですけど、もうちょっと時間延長なり日曜日でも連絡がつくようにしていただくと生活がしやすいなと思います。

【都市政策課長】 都市政策課の松本と申します。市駅は、横河原、郡中、高浜の郊外3線それから路面電車それからバスが集中的に集まるということと、大型の商業施設があるということもあって自家用車が通ることになり、どうしても混雑しております。現在1日、郊外線や路面電車、バス、都市間バスで1万8千人ぐらいの方が利用されている松山市の最大の交通結節拠点で高島屋さんができるときに今の駅前広場の南側は整備してるんですけども、それ以上に交通量が多いということで今後交通規制の権限のある警察とも協議して何とか交通の円滑化ができないかを取り組んでいきたい。大きな課題だと認識をしております。それとJR松山駅の件が出ましたけれども、現在鉄道の高架化、JR松山駅を中心に南北に2.4キロの鉄道の高架化を愛媛県が行っておりまして、それにあわせて松山市が土地区画整理事業を行っております。路面電車の延伸はJR松山駅のところに乗り入れるとともに西環状線、総合公園の前の道まで約700メートル延伸する計画を現在進めております。

【市民部長】 市民部の吉野です。直接の担当ではないので誠に申しわけないんですが基本的に皆さん御存じかと思いますが勤務時間は月曜日から金曜日までの午前8時半から午後5時にはなっておりますが、例えば市民部関係におきましても住民票の関係とかでフジグラン松山、伊予鉄高島

屋とか松山三越とかに市民サービスセンターを置いたりできるだけ皆さんの便宜を図るように、平日は6時までとか土日にも営業とかは行っておりますが、死骸等の清掃関係のところまで把握しておりませんので、帰りまして主管課に申し伝えて何とかならないか、前向きな方向で検討できないか問い合わせてみますのでそれでよろしいでしょうか。

【市長】 このタウンミーティング1カ月を目途に必ずいただいた質問には、このようにさせていただきますという答えをつくりまして答えをお返しさせていただきます。いったん持ち帰らせていただいてそのときにまたお返しをさせていただきますと思います。よろしく願いいたします。私からまとめの話をさせていただきますと思いますが。今日は本当にありがとうございました。我々終わりました後、さっと帰るのではありませんので、今例えば川の関係であったり道路の関係で危ないと思うんですよというところがありましたら、地図持ってきておりますので指し示していただいたら私たちも状況把握できますのでありがたく思います。松本課長が道路の担当でございますのでどうぞおっしゃっていただいたらと思います。また今日申し上げたんですけども、やっぱり昔は箱もの行政と言われた時代もございました。例えば高度経済成長の時代、日本の経済がよくなる、そして人の数も増えていくという時代がありました。その当時はそうだったのかもしれませんが。でも今難しいのはいったん行政で建物をつくってしまうと調子悪いからもうやめましたはなかなかできないんですよ。建てたら終わりじゃなくてずっと維持管理の費用がいるんですね。そのあたりがやっぱり難しいところではあります。お金がない。地方どこの自治体もそうですけどもそういう時代だからこそ余計に難しい時代になっているのかなと思います。ただ、お金がないからといってそれで思考停止になるんじゃないかと、とにかく知恵と工夫でやれることはないのかということ。そして皆さんのお声にしっかりと耳を傾けて今やるべきことは何なのか。後手を踏まないように、今やるべきことは何なのかをしっかりとやっていきたいと思えます。タウンミーティングやっておりますと皆さんから市長これやってくれよ、あれやってくれよ、これやってくれよって言われます。私も人間ですからわかりました、それやりましょう、これやりましょう、あれやりましょうって言ったほうが楽ではあるんですけども、やはりそれをやってしまうと将来の世代にツケを残すことはしたくない。今の時代はよくて将来の世代がそれを抱えてしまう世の中はまずいと思えますので、さりとて何もしないわけではなくて後手踏まないように今やるべきことは何なのかしっかりと考えて取り組んでいきたいと思えますのでまた皆様方のお力添えをお願いいたしまして今日のタウンミーティン

グを終了とさせていただきます。今日はありがとうございました。また今後ともよろしく願いいたします。

— 了 —